操作、修理、部品

SaniSpray HP™ 65 ポータブルホッパースプレーヤー

3A7742E

JA

スプレー用途向けに承認された水性消毒剤のポータブルでのスプレー用途のみ。建築ペンキやコーティングの用途向けではありません。爆発性雰囲気または危険（分類）区域での使用は承認されていません。一般目的では使用しないでください。

重要な安全上の指示

本取扱説明書、関連する取扱説明書と電源コードを含む装置に記載の警告と指示をすべてお読みください。装置のコントロールと適切な使用方法を熟知してください。説明書は保管してください。

重要な医療関連の情報

スプレーヤーと共に提供される医療用アラートを読んでください。これには医者用の注射損傷処置情報が含まれます。器具を操作する際は持っていてください。

⚠ 警告

化学物の危険

重篤な怪我の防止

- 消毒ラベルのすべての指示と要件に従ってください。ラベルと異なる方法で、EPARK 承認の殺菌剤を使用することは、連邦法の違反となります。
- 使用ごとに洗浄してください。機器内に消毒剤を保管しないでください。
- 適切な作業者用安全保護具を着用してください。

SERVICE to every customer, every time

?? WWW ??

www.graco.com/techsupport

純正の Graco 交換部品のみを使用してください。
純正ではない Graco 交換部品を使用すると保証の対象外になります。

PROVEN QUALITY. LEADING TECHNOLOGY.

目次

モデル 3
重要なユーザー情報 4
警告 5
スプレーヤーを知る 9
接地 10
電源要件 10
延長コード 10
ペール缶 10
セットアップ 11
起動 12
圧力開放手順 12
新しいスプレーヤーの洗浄 14
ポンプを満たす 15
スプレーガンとエアレスホースに充填する 16
スプレーの方法 17
スプレーチップの選択 17
スプレーチップの向き 18
スプレーの開始と圧力調整 18
チップの詰まり除去 19
洗浄 20
ガンの清掃 22
保管 22
クイックレファレンス 23
保守 24
エアレスホース 24
スプレーチップ 24
ポンプ修理 24
ポンプの取り外し 24
ポンプの取り付け 25
インレットバルブの取り外し 26
リサイクルおよび廃棄 26
製品有効期間の終了 26
トラブルシューティング 27
部品 - SaniSpray HP 65 (応急処置) 30
部品 - SaniSpray HP 65 (拡張修理) 32
部品 - SaniSpray HP 65 (ポンプ修理) 33
配線図 34
100-120V 34
220-240V 35
技術的仕様 36
California Proposition 65 37
グラコ社の保証 38
Graco に関する情報 39

モデル

	VAC	モデル
Intertek 110474 CAN / CSA C22.2 No. 68 認証済 準拠する基準 UL 1450	120 USA	25R792
	230 CEE 7/7	25R946
	230 Europe Multi	25R948
	240 AP Multi	25R954
	100 JP/TW	25R962

最高使用圧力: 1000 psi (6.9 MPa、69 bar)

重要なユーザー情報

消毒剤スプレーヤーを使用する前に、適切な使用法と安全に関する警告について当マニュアルをお読みください。

スプレーヤーは、水性の消毒剤をスプレーし、水で清掃するために設計されています。

また、消毒剤の容器ラベルに記載の情報をよく読み、メーカーからの安全データシート (SDS) をお取り寄せください。容器のラベルと SDS には、材料の成分、使用指示、材料に関する特別な安全上の注意についての説明が含まれています。これらの注意事項には個人用保護具 (PPE) が含まれます。

消毒剤の
活性成分の把握

当スプレーヤーを安全に使用するために、消毒剤にどのような種類の**活性成分**が含まれるかを知る必要があります。活性成分のリストについては容器のラベルをご覧ください。これには 2 種類あります。

アルコール: この種類の消毒剤には、エタノール（エチルアルコール）やイソプロパノール（IPA）などの可燃性の活性成分が含まれています。容器ラベルには、この材料が引火性または可燃性であることが示されているはずです。お使いのスプレーヤーは、この種の材料に対応しています。可燃性の材料は、換気や風通しの良い十分に換気された場所で使用してください。このマニュアルの安全に関する警告をお読みください。

アルコール以外: この種類の消毒剤には、アルデヒド、フェノール、四級アンモニウム化合物、次亜塩素酸ナトリウム（漂白剤）、ペルオキシ酢酸、過酸化水素、次亜塩素酸などの活性成分が含まれています。お使いのスプレーヤーは、この種の材料に対応しています。

警告

次の警告は、この装置のセットアップ、使用、接地、メンテナンスと修理に関するものです。感嘆符のシンボルは一般的な警告を行い、危険シンボルは手順特有の危険性を知らせます。これらの記号が、本取扱説明書の本文または警告ラベルに表示されている場合には、戻ってこれらの警告を参照してください。このセクションにおいて扱われていない製品固有の危険シンボルおよび警告が、必要に応じて、この取扱説明書の本文に示されている場合があります。

⚠ 警告

化学物の危険

有毒な消毒剤や気体が目に入ったり、皮膚に付着したり、それらを吸い込んだり、飲み込んだりすると、重傷を負ったり死亡したりする恐れがあります。

- 子供の手の届かないところに保管してください。
- 面への噴射のみに使用してください。人または動物に噴射しないでください
- 適切な作業者用安全保護具を着用してください。**個人用保護具**、ページ 7を参照してください。
- 消毒ラベルのすべての指示と要件に従ってください。ラベルと異なる方法で、EPARK承認の殺菌剤を使用することは、連邦法の違反となります。
- 使用後に毎回水で洗浄してください。機器内に消毒剤を保管しないでください。
- 安全データシート (SDS) を参照して、使用している消毒剤固有の危険性を知っておいてください。
- 消毒剤の容器ラベルの指示に従って消毒剤を保管または破棄してください。

高圧噴射による皮膚への危険性

高圧の噴射により、体内に有害物質が入り込み、切断に至る重傷を生じさせる可能性があります。万一肌に付着した場合は、**直ちに外科的処理を受けてください。**

- 面への噴射のみに使用してください。人または動物に噴射しないでください
- スプレーチップを人に向けたり、自分の体に向けたりしないでください。たとえば、いかなる部分であれ身体の一部を使って液漏れを止めようとしないでください。
- スプレーチップガードを常に使用してください。スプレーチップガードが定位置にない場合は、スプレーを行わないでください。Graco のスプレーチップのみを使用してください。
- スプレーチップの清掃および交換は注意深く行ってください。スプレー中にスプレーチップが詰まってしまった場合、清掃のためにスプレーノズルのチップを外す前に圧力を解放するために、**圧力開放手順**、ページ 12に従ってください。
- 装置は電源切断後も圧力を維持します。装置の電源をオンにしたまま、または加圧中のままで放置しないでください。装置を無人状態にしておく場合、または使用せず、サービス作業、清掃、または部品の取り外しを行う場合には、スプレーヤーを電源から外し、**圧力開放手順**、ページ 12に従ってください。
- 損傷の兆候があるホースや部品がないか確認してください。損傷したホースや部品があれば、交換してください。
- このシステムは 1000 psi (69 bar、6.9 MPa) を生成できます。最低 1000 psi (69 bar、6.9MPa) の定格を持つ Graco 製の交換部品やアクセサリーを使用してください。
- スプレーを中断するときは、引き金ロックを掛けてください。引き金ロックが正しく機能しているか確認してください。
- 装置を操作する前に、すべてしっかりと接続されていることを確認してください。
- 装置を手早く停止する方法、圧力を除去する方法を学んでおいてください。コントロール類をよく知っておいてください。

警告

⚠ 警告

火災および爆発の危険性

作業場に、消毒剤のような可燃性の蒸気が存在すると、火災や爆発の原因となることがあります。火災と爆発を防止するために：

- 直火あるいは引火の原因となる煙草、モーター、電気器具などの付近では、可燃性の消毒剤をスプレーしないでください。
- 消毒剤が装置を通ると、静電気が発生する場合があります。消毒剤からの蒸気がある場合、静電気によって火災や爆発が発生する危険があります。静電気放電と火花を防ぐため、ポンプ、ホースアセンブリ、スプレーガン、およびスプレーエリア内やその付近のすべての物体を含む、スプレーシステムのすべての部品は、適切に接地されている必要があります。Graco の導電性、または接地されている高圧エアレススプレーヤーホースを使用してください。
- 静電気の放電を防ぐために、すべての容器及び回収システムが接地されていることを確認してください。静電気防止または導電性でない限り、ペール缶ライナーは使用しないでください。
- 接地されているアウトレットに接続し、接地されている延長コードを使用してください。3 端子を 2 端子に変換するアダプタは使用しないでください。
- スプレー作業を行う場所では常に換気を行ってください　操作を行う場所では換気を常に良くしてください。
- スプレーヤーは火花を発生させます。スプレー、すすぎ、洗浄、点検を行う場合、ポンプアセンブリを換気が十分な場所に置き、スプレーする場所から最低でも 6.1 m (20 フィート) 離します。ポンプアセンブリに向かってスプレーしないでください。
- スプレー場所では喫煙しないでください。また火花や炎がある場所ではスプレーしないでください。
- スプレーをする場所では、照明スイッチ、エンジン、あるいは同様の火花を発生する製品を操作しないでください。
- スプレーをする場所は清潔に保ち、消毒剤の容器、ボロ布、その他の可燃性の物を置かないでください。
- スプレーする消毒剤の成分を確認してください。すべての安全データシート (SDS) や消毒剤に付属の容器ラベルをお読みください。消毒剤の製造元の安全の手引きに従ってください。
- 作業場には消火器を置いてください。

装置誤用による危険

装置を誤って使用すると、死亡事故または重大な人身事故を招くことがあります。

- 子供が近くにいる場所では操作やスプレーを行わないでください。装置は常に、子供が触れることのない場所に保管してください。
- 不安定なサポートの上で部品を伸ばしたり、立てたりしないでください。常にしっかりとした足場を保ち、バランスをとってください。
- 緊張感を保ち、取りかかっている作業から目を離さないでください。
- 疲労状態、薬物を服用した状態、または飲酒状態で装置を操作しないでください。
- ホースをよじれさせたり、曲げ過ぎないでください。
- Graco の仕様を超える気温や圧力にホースをさらさないでください。
- 装置を引っぱったり、持ち上げたりするためにホースに力を加えないでください。
- 7.6 m（25 フィート）未満のホースは使用しないでください。
- 装置を改造しないでください。装置を改造または変更すると、担当機関からの承認が無効になり、安全上の問題が生じる場合があります。
- すべての装置が、それらを使用する環境用に格付けおよび承認されていること確認してください。

⚠ 警告

感電の危険性

この装置は接地する必要があります。不適切な接地、セットアップまたはシステムの使用により感電を引き起こす場合があります。

- 装置のサービスを行う前にメイン電源のスイッチを OFF にし、電源コードを抜きます。
- 接地端子付きのコンセントだけを使用してください。
- 延長コードは、3 線のもののみを使用してください。
- 接地線の先端部が電源コードおよび延長コードに直接導通していることを確認してください。
- 水および雨に曝さないで下さい。室内に保管してください。
- サービス作業を行う際には、電源コードを抜いてから、5 分間待ってください。

可動部品の危険性

可動部品は指や身体の一部を挟んだり、切ったり、切断したりする可能性があります。

- 可動部品に近づかないでください。
- 保護ガードまたはカバーを外したまま装置を運転しないで下さい。
- 圧力がかかった装置は、突然 (前触れもなく) 起動することがあります。装置を点検、移動、またはサービスする前に、**圧力開放手順**に従ってすべての電源接続を外してください。

個人用保護具

作業場にいる際、目の怪我、火傷、難聴、消毒剤の化学物の気体の吸引を含む大怪我から自身を守るために、適切な保護具を身につける必要があります。保護具には以下のものが含まれます。

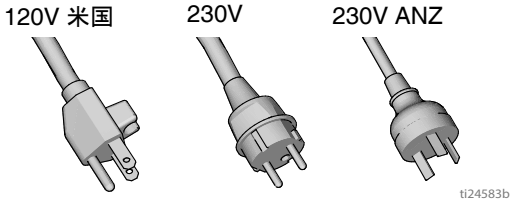
- 保護めがね、耳栓。
- 適切なマスク、保護衣、および手袋。
- 消毒剤の製造元から指定されたすべての保護具。

⚠ 警告

接地

本装置は接地する必要があります。接地とは、電流を逃す配線を設けておくことで、回路短絡が発生した場合の感電の危険性を削減できます。本製品には、適切な接地プラグの付いた接地ワイヤを備えたコードが付属しています。プラグは、ご使用の地域の法令と条例に従って適切に取り付けられ、接地されたアウトレットに接続する必要があります。

- 接地プラグの設置が適切でないと、感電の危険が発生します。
- 本製品は定格 120V または 230V の回路で使用されるように製造されており、下図のプラグに類似した接地プラグが付属しています。



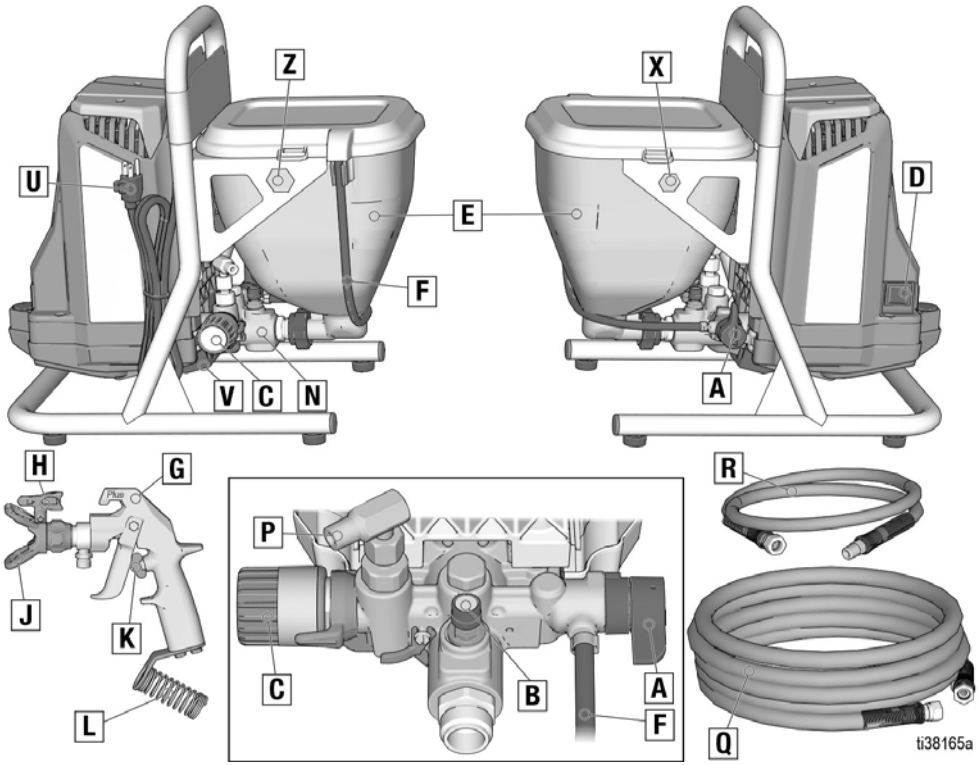
- 製品はプラグと同様の構造のアウトレットにのみ接続して下さい。
- 提供されたプラグは改造しないでください。アウトレットに適合していない場合には、資格を持った電気技師に適切なアウトレットの設置を依頼してください。
- 本製品にはアダプタは使用しないでください。
- コードまたはプラグの修理および交換が必要な場合には、接地線をどちらのフラットブレードターミナルにも接続しないでください。
- 絶縁されていて、外側の表面が緑色の線が接地線です。黄色の縞は入るものと入らないものがあります。
- 接地の指示が十分に理解できない場合、または製品が正しく接地されているかどうか疑問のある場合は、資格を持った電気技師あるいはサービス作業担当者に問い合わせてください。

延長コード:

- 本製品には、3 端子の接地付きコンセントと、本製品のプラグと接続できる 3 穴の差し込み口のある 3 線式延長コードのみを使用してください。
- スプレーヤーを屋外で操作するときには、屋外での使用に適した延長コードを使用してください。
- 延長コードが損傷していないか確認してください。
- 延長コードを使用する場合には、スプレーヤーが使用する電流を流すのに十分なコードを使用してください。規格が下回るコードを使用すると、電圧の低下、電力の損失、過熱の原因となります。疑わしい場合は、次に大きいゲージを使用してください。ゲージ番号が小さいほど、使用されている導線は太くなります。適切なサイズと長さについては、チャートをご覧ください。

コンダクタサイズ		長さ
AWG (米国電線規格)	メートル法	最大
16	1.5 mm^2	8 m (25 ft.)
12	2.5 mm^2	15 m (50 ft.)

スプレーヤーを知る



A	プライム/スプレーバルブ
B	PushPrime ボタン
C	圧力制御ノブ
D	オン/オフスイッチ
E	ホッパー
F	ドレンチューブ (およびディフューザー)
G	SaniSpray HP エアレススプレーガン
H	スプレーチップ
J	スプレーチップガード
K	引き金ロック
L	ホースガード
N	ProXChange™ ポンプ (Easy Access Door の背面)

P	液体アウトレット取り付け金具 (エアレスホース接続)
Q	エアレスホース
R	エアレス手元ホース
U	電源コード
V	Easy Access Door
X	ポンプ取り外しツール
Z	インレットバルブ取り外しツール
	インレットストレーナー、ホッパーの内側 (図はありません)
	モデル/シリアルタグ（ここには表示されていません。）
詳細については、**クイックレファレンス**、ページ 23をご覧ください。	

接地

静電気火花や感電による危険性を抑えるため、装置は必ず接地してください。電気または静電気放電は、蒸気を発火させたり爆発させたりする可能性があります。接地が適切でないと、感電する可能性があります。適切に接地しておけば、配線を通して電流を逃すことができます。

本スプレーヤーには、適切な接地プラグの付いた接地線を備えた電源コードが付属しています。

プラグは、各自治体の条例に従って適切に取り付けられ、接地されたコンセントに接続する必要があります。

提供されたプラグは改造しないでください。アウトレットに適合していない場合には、資格を持った電気技師に適切なアウトレットの設置を依頼してください。

電源要件

- 100-120V 装置は 100-120 VAC、50/60 Hz、8A、単相の電源を必要とします。
- 230V 装置は 220～240 VAC、50/60 HZ、5A の電源を必要とします。

延長コード

破損していない接地接点付きの延長コードを使用してください。延長コードが必要な場合は、3 線 12 AWG (2.5mm^2) 以上のコードを使用してください。

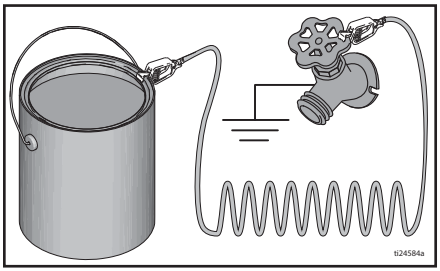
注：小さいゲージ、または長い拡張コードを使用すると、スプレーヤーの機能が低下することがあります。

ペール缶

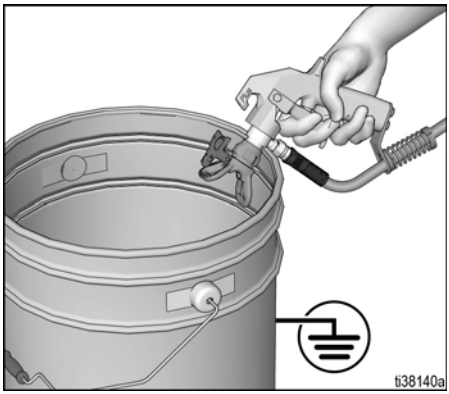
アルコール活性成分を含む消毒剤について: ご使用の地域の法令に従って下さい。導電性金属のペール缶のみを使用してください。ペール缶を接地された表面に置くか、接地線を取り付けることにより、ペール缶を接地します。

設置方法: コンクリートのような接地された表面にペール缶を置いてください。接地を妨げる紙や段ボールのような非導電性面に、ペール缶を設置しないでください。

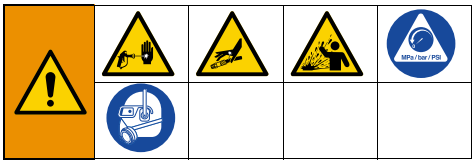
接地線の方法: ペール缶に接地線を接続します。一方の端をペール缶にクランプし、他方の端は水道管などのアースにクランプします。



スプレーヤーを洗浄したり、圧力を解放しているときに、接地を維持するため: スプレーガンの金属部分を接地された金属製ペールの側面に向けてしっかりと持って、スプレーガンの引金を引きます。

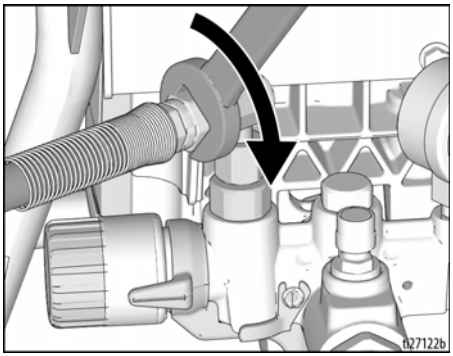


セットアップ

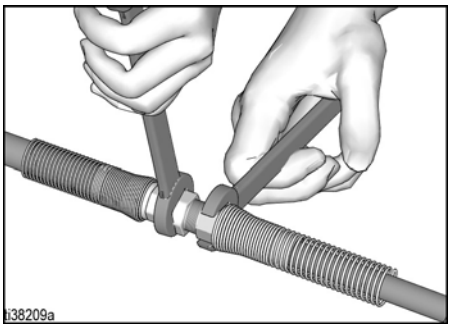


スプレーヤーを初めて開梱する場合、または長期間保管した後開梱する場合、この設定手順に従ってください。

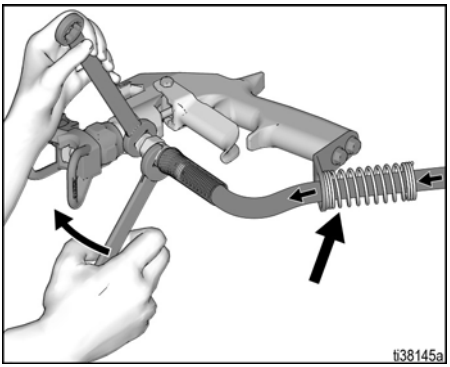
1. 1/4 インチの Graco エアレスホースを、液体アウトレット取り付け金具に接続します（取り付け金具に赤い保管プラグがある場合は取り除きます）。レンチを使用してしっかりと絞め付けます。



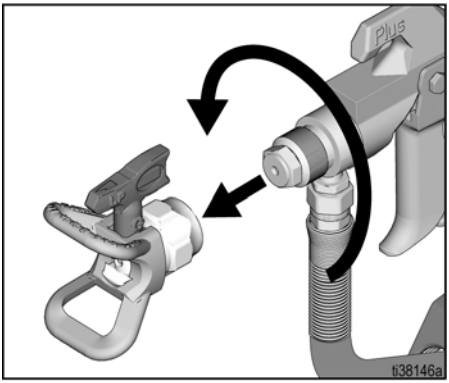
2. オプションの 1/8 インチのエアレス手元ホースを 1/4 インチエアレスホースの端に取り付けます。レンチを使用してしっかりと絞め付けます。



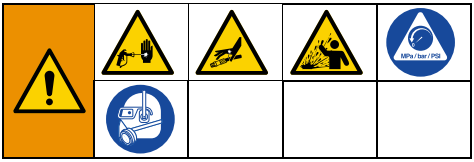
3. エアレス手元ホースのもう一端を、スプレーガンの底部にあるホースガードを通して挿入します スプレーガンに接続します。レンチを使用してしっかりと絞め付けます。



4. スプレーチップガードアセンブリをスプレーガンから取り外します。

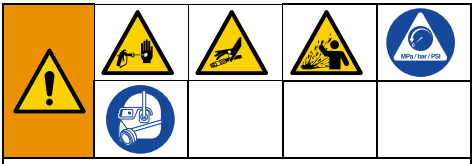


起動



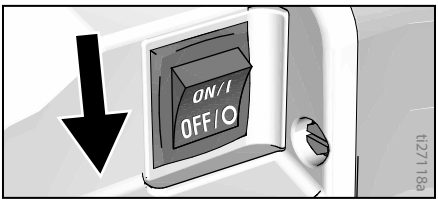
圧力開放手順

この記号が表示されている箇所では、圧力開放手順に従ってください。

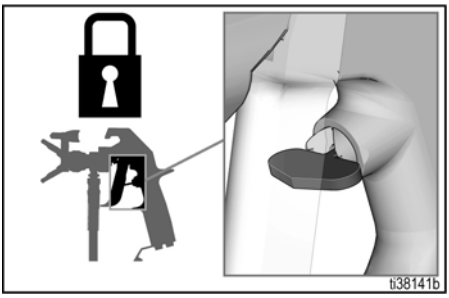


本装置は、圧力が手動で解放されるまでは、加圧状態が続きます。皮膚への侵入、硫体の拡散、など、高圧硫体による深刻な損傷を受けないようにするには、スプレーヤーが停止した場合は常に、またスプレーヤーの洗浄または点検を行う前に、および装置のメンテナンスを行う前に**圧力開放手順**に従ってください。

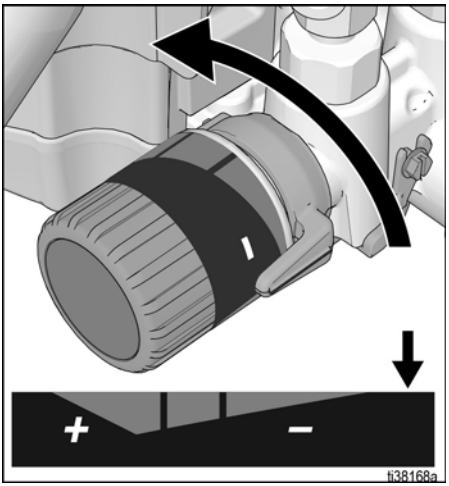
1. オン / オフスイッチを**オフ**の位置にします。



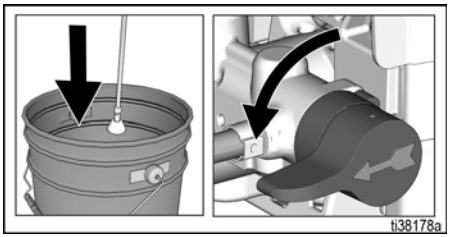
2. 引き金のロックを掛けます。スプレーヤーが停止した場合は、誤ってスプレーガンの引金が引かれるのを防止するため、必ず引き金ロックをかけてください。



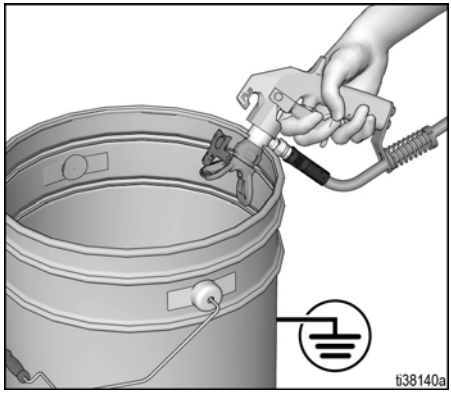
3. 圧力制御ノブを最低設定まで回します。



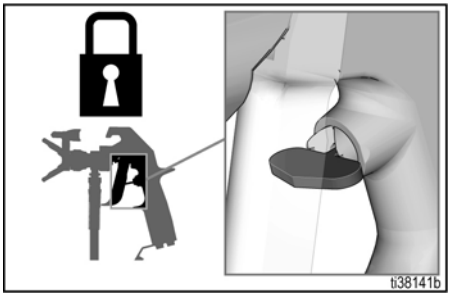
4. ドレンチューブをペール缶に入れ、プライム / スプレーバルブを水平の PRIME 位置に設置して、圧力を開放します。



5. 接地した金属ペール缶にスプレーガンの金属部分をしっかりと接触させます。スプレーガンをペール缶に向けます。引き金ロックを外し、スプレーガンの引き金を引いて圧力を開放します。



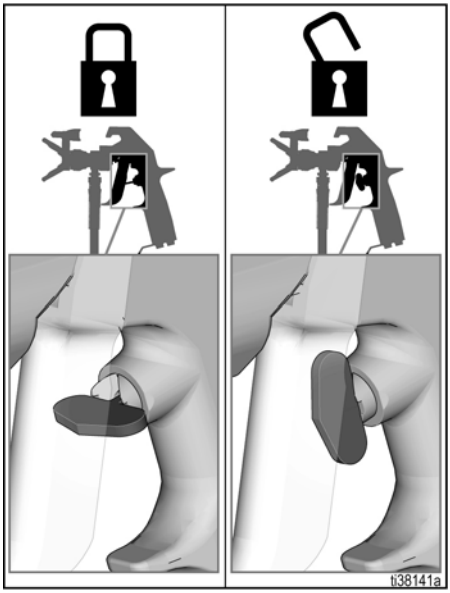
6. 引き金のロックを掛けます。



7. スプレーチップやホースが詰まっているか、圧力が完全に解放されていないと思われる場合:
   a. スプレーチップガード保持ナットまたはエアレスホース端カップリングを非常にゆっくりと緩めて、徐々に圧力を開放します。
   b. ナットまたはカップリングを完全に緩めます。
   c. エアレスホースまたはスプレーチップの詰まりを除去してください。

引き金ロック

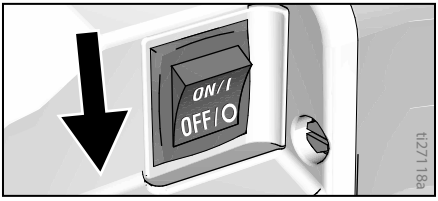
スプレーヤーを停止させているときに、スプレーの引き金を誤って引いたり、落としたりぶつけたりして作動させてしまったりすることがないようにするため、必ず引き金ロックを掛けてください。



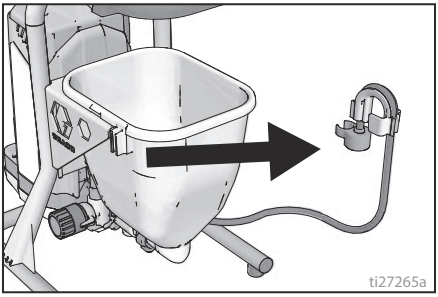
新しいスプレーヤーの洗浄

当スプレーヤーは、少量のテスト用液体がシステム内に入ったまま工場から出荷されています。**最初に使用する前に、スプレーヤーからこの液体を洗浄することが重要です。**

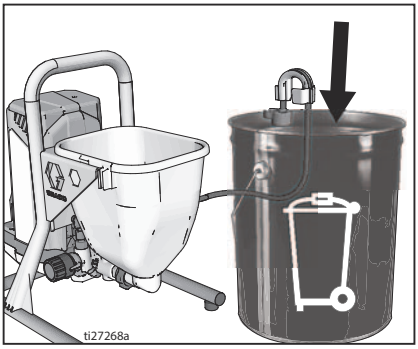
1. **圧力開放手順**、ページ 12) を実行してください。
2. 特定のオン / オフスイッチを**オフ**にします。



a. リテーナーをホッパーから外した状態でドレンチューブを持ち上げます。

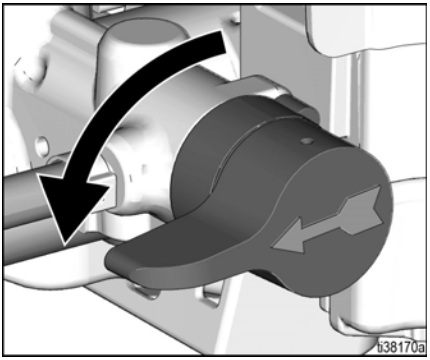


b. 廃液バケツの上部とドレンチューブを平行な状態にして、ドレンチューブリテーナーを支えると同時に、容器の淵の上にリテーナを捻じ曲げます。これでドレンチューブは、廃液バケツの中に入っているはずです。

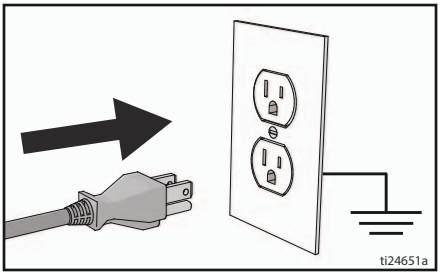


c. ホッパーに約 2 クォートの温水を注ぎます。

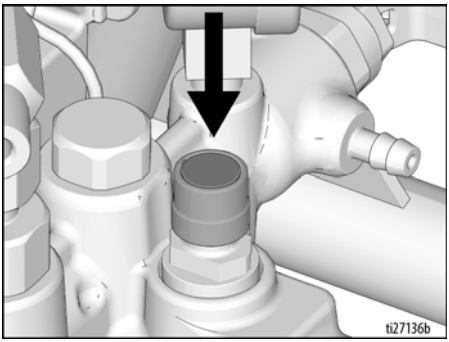
3. プライム / スプレーバルブを水平の PRIME 位置まで回します。



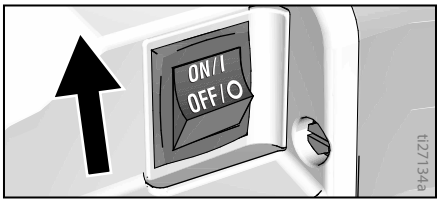
4. 適切に接地されたコンセントに電源コードを差し込みます。



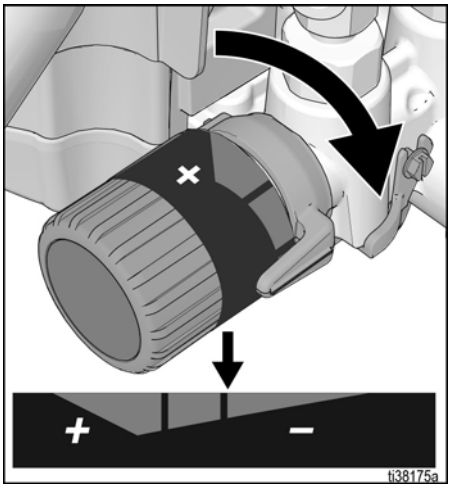
5. PushPrime ボタンを 2 回押してインレットボールを緩めます。



6. オン / オフスイッチを**オン**の位置にします。



7. 圧力制御ノブを時計回りに回して、ポンプをオンにします。

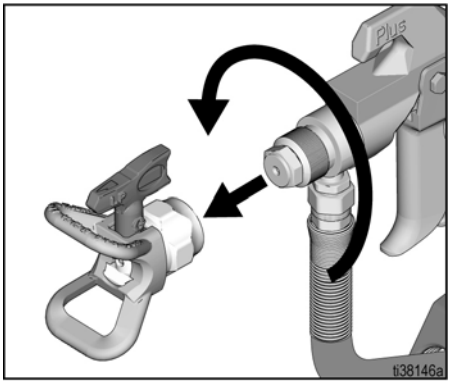


8. スプレーヤーのポンプが起動すると、水と気泡がシステムから排出されます。ドレンチューブから廃液バケツまで、ホッパーがほぼ空になるまで液体を流しだします。
9. オン / オフスイッチを**オフ**の位置にします。

ポンプを満たす

正しい使用のためのメーカーの推奨については、消毒剤のラベルを参照してください。希薄が必要な場合は、使用する前に消毒剤を正しく希薄します。

1. **圧力開放手順**、ページ 12) を実行してください。
2. スプレーチップガードとスプレーチップを取り外します。

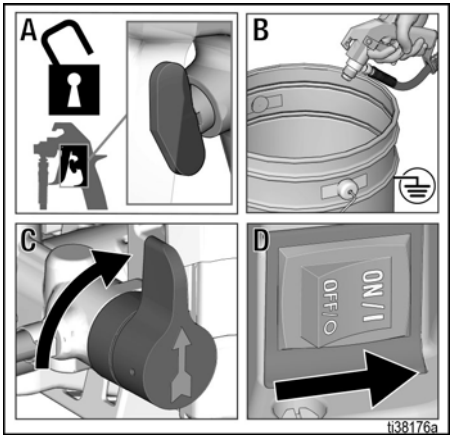


3. ホッパーに適切に準備した消毒剤を追加します。
4. オン / オフスイッチを**オン**の位置にします。
5. プライム / スプレーバルブを水平の PRIME 位置まで回します。
6. 圧力制御ノブを時計回りに回して、ポンプをオンにします。
7. 消毒剤がドレンチューブから出てくるのを待ちます。
8. オン / オフスイッチを**オフ**の位置にします。

   注: オン/オフスイッチを一時的にオフにし、ポンプ動作を遅くして停止させた方が、ポンプの吸引が速くなります。必要な場合には、オン/オフスイッチを何度かオンおよびオフの位置にします。

スプレーガンとエアレスホースに充填する

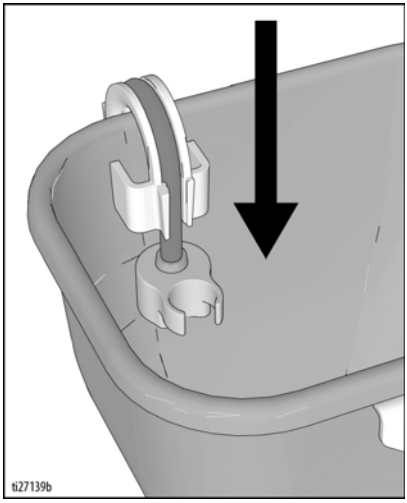
1. スプレーガンを接地された金属廃液バケツに向けます。スプレーガンを廃液バケツに向けます。
   a. 引き金ロックを解除します。
   b. スプレーガンの引き金を引いたままにします。
   c. プライム / スプレーバルブを「SPRAY」位置まで回します。
   d. オン/オフスイッチを**オン**の位置にします。



2. 消毒剤が出てくるまで、スプレーガンを廃液バケツに向けて引き金を引きます。
3. 引き金を放します。引き金をロックします。

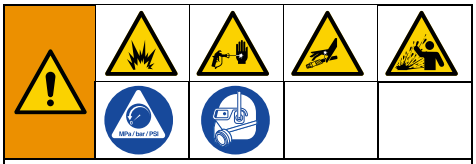
高圧スプレーにより、体内に有害物質が入り込み、重傷を引き起こす可能性があります。手や雑巾で漏れを止めようとしないでください。

4. エアレスホースの接続に漏れがないか点検します。漏れている場合、**圧力開放手順**、ページ 12) を実施し、すべての取付金具を締め付けてから、**起動**を繰り返します。漏れていない場合、次の手順に移ります。
5. ドレンチューブをホッパーにクリップで留めます。



注：モーターが停止したら、スプレーヤーが加圧されています。モーターが引き続き作動する場合は、スプレーヤーが正しくプライムされていません。**ポンプを満たす**および**スプレーガンとエアレスホースに充填する**、ページ 16) の手順を繰り返してください。

スプレーの方法



スプレー用途向けに承認された消毒剤のみを使用してください。

アルコールの活性成分を含む消毒剤、または可燃性の消毒剤からのガスは爆発または引火する可能性があります。ポンプモーターは火花を発生させます。ガスの爆発や引火を防ぐには：

- ポンプをスプレーエリアから約 6 メートル（20 ft）以上離してください。
- ポンプに向かってスプレーしないでください。
- スプレー作業を行う場所では常に換気を行ってください
- 操作を行う場所では換気を常に良くしてください。

スプレーチップの選択

噴射によって皮膚に重傷を負うことを避けるため、スプレーチップやスプレーチップガードを取り付けたり、取り外したりするときには、スプレーチップの前に手を置かないでください。

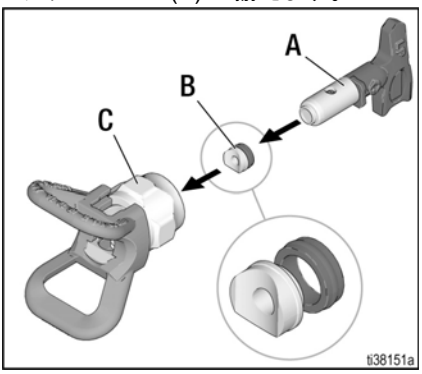
スプレーヤーには 3 つのサイズのスプレーチップが付属します。

細かい	FFLP310
中	LP515
粗い	LP617

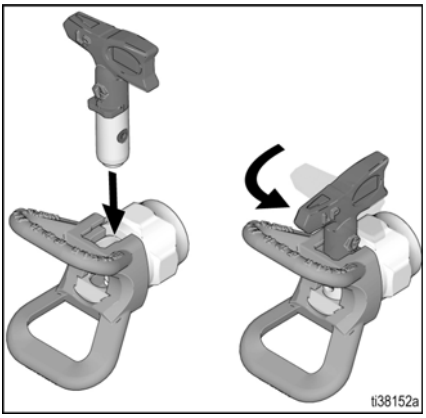
消毒剤の容認可能なスプレーを行うために、適切なサイズのスプレーチップを選択してください。製造元の推奨について、消毒剤のラベルを参照してください。

スプレーチップの漏れを防ぐには、指定のスプレーチップとスプレーチップガードが適切に取り付けられていることを確認します。

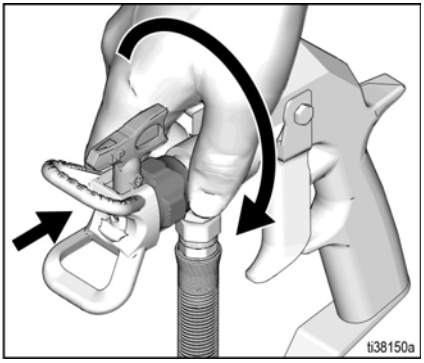
1. **圧力開放手順**、ページ 12) を実行してください。
2. スプレーチップ (A) を使用し、TipSeal™ (B) (ガスケットとシール) をスプレーチップガード (C) で揃えます。



3. スプレーチップをスプレーチップガードに挿入します。スプレーチップが前向きで SPRAY の位置にあることを確認します。



4. スプレーチップガードアセンブリをスプレーガンにネジで取り付けて絞め付けます。



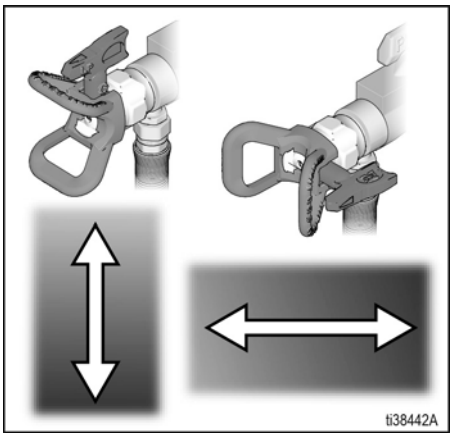
スプレーの方法

注意：スプレーチップは使用とともに摩耗するので、定期的な交換が必要です。

スプレーチップの向き

噴射によって皮膚に重傷を負うことを避けるため、スプレーチップを回転させるときには、スプレーチップガードの前に手を置かないでください。

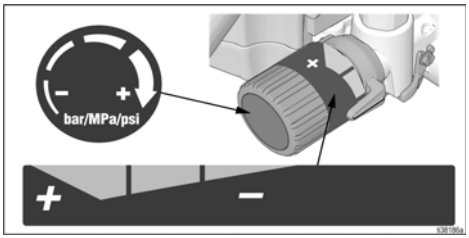
スプレーチップガードを垂直または水平の希望の向きに調整します。



スプレーの開始と圧力調整

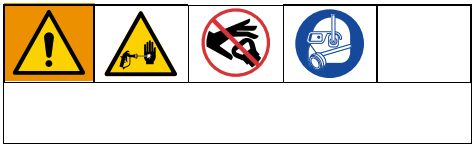
消毒剤の適切なスプレーに関しては、常に消毒剤の製造元の推奨を参照してください。

1. スプレーガンをスプレーする面に向けます。
2. 圧力制御ノブが最低設定にあることを確認します。
3. 引き金ロックを解除します。
4. スプレーガンの引き金を引いたままにします。
5. 圧力制御ノブを使用してゆっくりと圧力を高めます。消毒剤の適切なスプレーに必要な最小設定に設定します。これにより、オーバースプレーを低減できます。



6. スプレーガンの面からの距離と手の早さを調整して、面の適切な範囲にスプレーできるようにします。

チップの詰まり除去



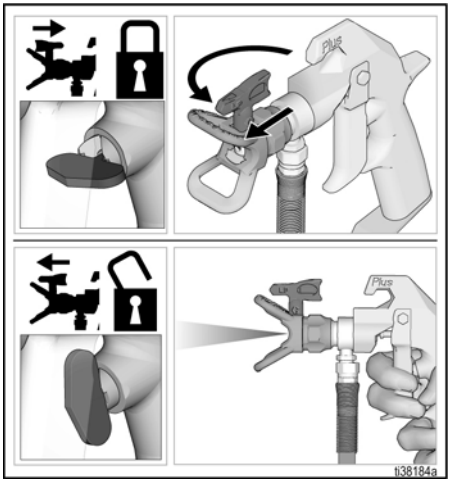
異物がスプレーチップに詰まった場合、このスプレーガンは、リバーシブルのスプレーチップで設計されているので、スプレーガンを分解しなくても、粒子を簡単にすばやく除去できます。

1. 引き金を放します。引き金をロックします。スプレーチップを回して詰まり取りの位置にします。引き金ロックを解除します。廃液バケツでスプレーガンの引き金を引き、詰まりを取り除きます。

詰まりを除く

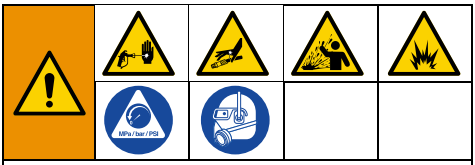
2. 引き金をロックします。チップを回してスプレーの位置に戻します。引き金ロックを解除してスプレーを続行します。

スプレー



洗浄

消毒剤と残留物をスプレーヤーから取り除くために、毎使用後にスプレーヤーを清掃する必要があります。スプレーヤーの次回使用時にトラブルなく使用を開始できるようにするのにも役立ちます。



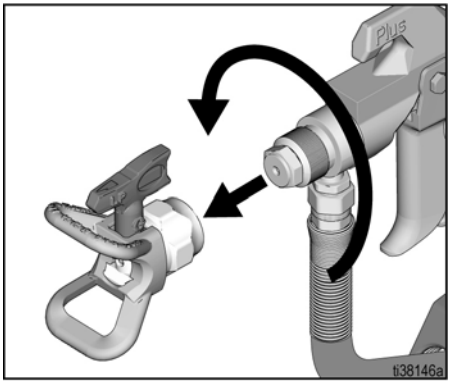
清掃には水のみを使用します。

清掃は十分換気された場所で行ってください。操作を行う場所では換気を常に良くしてください。

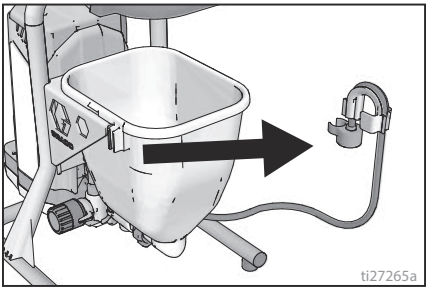
注意

スプレーヤーに消毒剤が残るとスプレーヤーが損傷します。損傷を防ぐため、使用後は必ず温水で十分に洗ってください。**洗浄**、ページ 20 を参照してください。消毒剤が残った状態でスプレーヤーを保管しないでください。

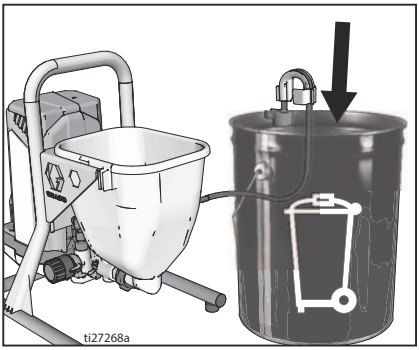
1. **圧力開放手順**、ページ 12) を実行してください。
2. 残っている消毒剤をホッパーから廃液バケツに流します。
3. スプレーチップガードとスプレーチップを取り外します。詳細については、**ガンの清掃**、ページ 22 をご覧ください。



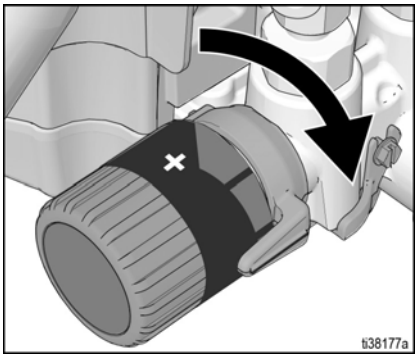
4. ホッパーからドレンチューブを取り外し、ドレンチューブの外側とホッパーの内側から消毒剤を拭き取ります。



5. ドレンチューブを廃液バケツの中に入れます。アルコール活性成分を含む消毒剤については、**接地**、ページ 10 に従ってバケツを接地させます。



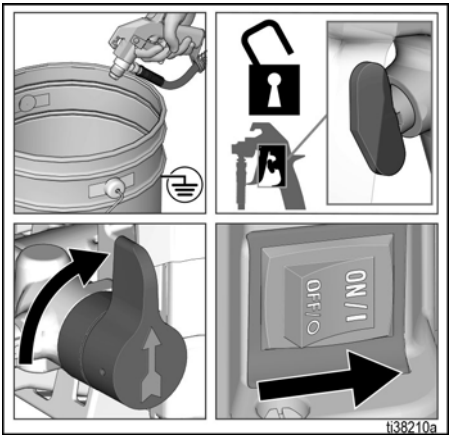
6. ホッパーに温水を注ぎます。
7. オン / オフスイッチを**オン**の位置にします。
8. 圧力制御ノブを時計回りに回して、ポンプをオンにします。



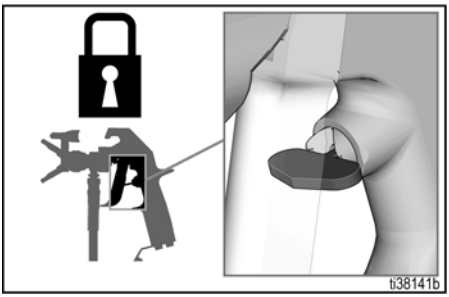
9. ホッパーから約 1/3 の水がなくなるまで、ドレンチューブから廃液バケツに水を流しだします。
10. オン / オフスイッチを**オフ**の位置にします。

注 : 手順 11 はエアレスホースから消毒剤を取り除くためのものです。50 ft のエアレスホースには、約 1 リットル (1 クオート) の液体が残っています。

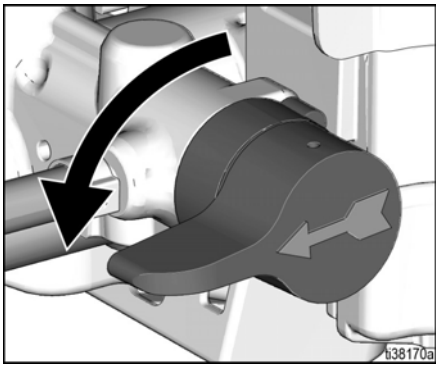
11. エアレスホースから消毒剤を取り除くには:
    a. スプレーガンを廃液バケツに向けます。
    b. 引き金ロックを解除します。
    c. スプレーガンの引き金を引いたままにします。
    d. プライム / スプレーバルブを「SPRAY」位置まで回します。
    e. オン / オフスイッチを**オン**の位置にします。



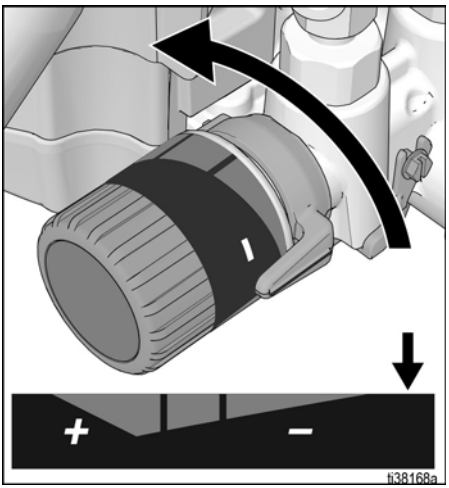
12. ホッパーとエアレスホースに水がなくなるまで、スプレーガンを廃液バケツに向けて引き金を引き続けます。
13. オン / オフスイッチを**オフ**の位置にします。
14. スプレーガンの引き金を引くのを止めます。引き金のロックを掛けます。



15. プライム / スプレーバルブを水平の PRIME 位置まで回します。



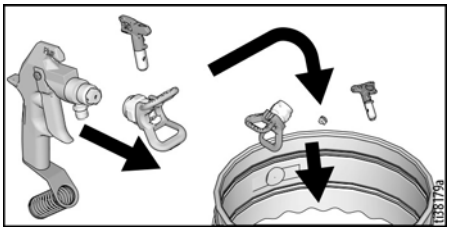
16. 圧力制御ノブを最低設定まで回します。



17. 消毒剤の容器のラベルと該当する規制に従い、廃液バケツ内の液体を破棄します。

ガンの清掃

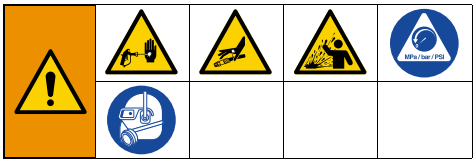
1. スプレーチップ、スプレーチップガードアセンブリを外します。水とブラシで清掃します。



2. 水で湿らせた柔らかい布でスプレーヤー、エアレスホース、スプレーガンを拭きます。

保管

適切に保管しておくと、次回スプレーヤーを使用する必要があるとき、すぐ使用できます。



注意

スプレーヤーに消毒剤が残るとスプレーヤーが損傷します。損傷を防ぐため、使用後は必ず温水で十分に洗ってください。**洗浄**、ページ 20 を参照してください。消毒剤が残った状態でスプレーヤーを保管しないでください。

- スプレーヤーを収納する前には、スプレーヤーとエアレスホースの水をすべて排出し切ってください。
- スプレーヤーやエアレスホース内が凍結することのないようしてください。
- スプレーヤーは加圧状態で保管しないでください。
- スプレーヤーは室内に保管してください。

クイックレファレンス

ページ9	名前	説明
A	プライム/スプレーバルブ	• 「PRIME」位置では、硫体はドレンチューブへ向かいます。 • 「SPRAY」位置では、圧力のかかった硫体は、エアレスホースへ向かいます。 • 圧力が過大になった場合には、システムの圧力を自動的に逃します。
B	PushPrime ボタン	インレットボールが押された場合は、タップして緩めます。
C	圧力制御ノブ	ポンプ、エアレスホース、およびスプレーガンの液体圧力を調整します。時計回りに回すと圧力が上がり、反時計回りに回すと下がります。
D	オン/オフスイッチ	スプレーヤーのオンとオフを切り替えます。
E	ホッパー	液体をポンプに汲み上げます。
F	ドレンチューブ	プライミングおよび圧力開放の際に、システム内の硫体を排出します。
G	SaniSpray HP エアレススプレーガン	硫体を吐出します。
H	スプレーチップ	• スプレーされる硫体を噴霧化し、一定のスプレーパターンを形成し、穴のサイズに応じて液体流量をコントロールします。 • チップが詰まった場合には、向きを反対にすれば、分解しなくても詰まりを除くことができます。
J	スプレーチップガード	液体注入によって障害が発生するのを防ぎます。
K	引き金ロック (13 ページ)	スプレーガンの引き金が誤って引かれるのを防ぎます。
L	液体インレット取り付け金具	エアレスホースへの、ネジ山付きの接続部です。
N	ProXChange ポンプ	硫体をくみ上げて加圧し、エアレスホースに送ります。
P	ポンプ流体アウトレット取り付け金具	エアレスホースへの、ネジ山付きの接続部です。
Q	エアレスホース	高圧の硫体をポンプからスプレーガンに送ります。
T	インレットストレーナー (ホッパーの内側)	異物がポンプに入るのを防ぎます。
U	電源コード	電源に接続します。
V	Easy Access Door	Easy Access Door により、ポンプに簡単にアクセスできます。ポンプインレットからドアをスライドさせると同時に、タブを引っ張って、ポンプドアを開けます。
X	ポンプ取り外しツール	フレームのカットアウトを使用し、ポンプパッキングを取り外し/設置します。
Z	インレットバルブ取り外しツール	フレームのカットアウトにより、追加のツール無しで素早くインレットバルブを取り外し/設置できるツールが利用できます。

保守

スプレーヤーを正常に操作するには、日常のメンテナンスが重要です。

活動	間隔
液体インレットストレーナーを点検/清掃します。	これは毎日、およびスプレーを実施するたびに実施します。
モーターシュラウド開口部に詰まりがないか点検します。	これは毎日、およびスプレーを実施するたびに実施します。

注意

本スプレーヤーの内部駆動部品に水が入らないようにしてください。機械系統の部品と内部の電子機器が空気で冷却されるように、シュラウドには開口部があります。これらの開口部に水が入ると、スプレーヤーの誤作動や回復不能な損傷の原因となります。

エアレスホース

毎回のスプレー作業時には、エアレスホースに損傷がないかチェックしてください。エアレスホースのジャケットまたは取り付け金具が損傷している場合、修理をしようとはしないでください。25 ft よりも短いエアレスホースは使用しないでください。2 つのレンチを使用してレンチを締めます。

スプレーチップ

- チップは、毎回のスプレー作業後に、水とブラシで清掃してください。
- チップは、15 ガロンのスプレー後に交換が必要となる可能性があります。60 ガロンまで耐えられる場合もあります。

ポンプ修理

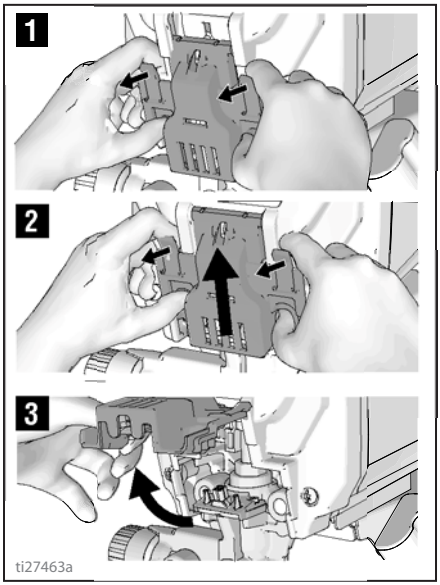
ポンプパッキンが摩耗すると、材料がポンプの外に漏れ出します。ポンプカートリッジキットまたは交換用ポンプアセンブリを購入します。**部品** 30-33を参照してください。**ポンプの取り外し**および**ポンプの取り付け** (24 ページおよび 25 ページ) の手順に従ってポンプを取り付けます。

ポンプの取り外し

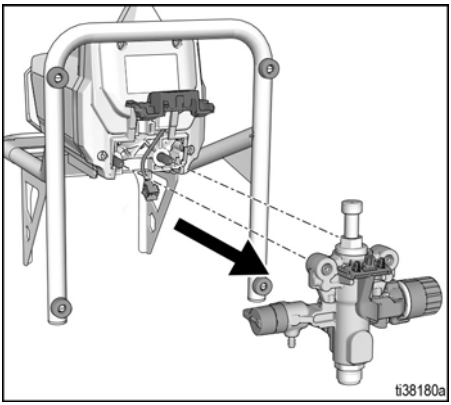
ポンプを取り外すにはホッパーを取り外す必要があります。

ポンプの修理を開始する前に、常に**圧力開放手順**、ページ 12を実行してください。

1. ポンプのインレットエンドから離れるようにドア全部を押しながら、Easy Access Door ポンプの側面のタブを自分のほうに向けて引っ張ります。
2. ドアを持ち上げれば、邪魔にならない場所へ旋回します。

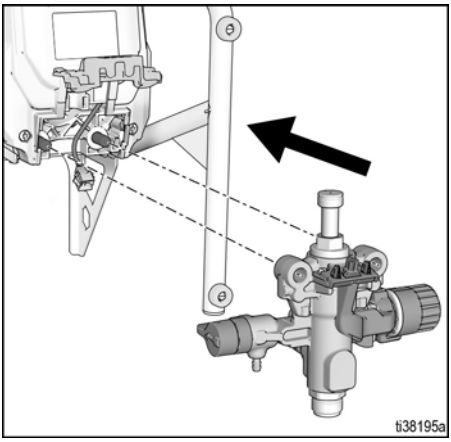


3. ポンプアセンブリを、取り付けピンからスライドします。

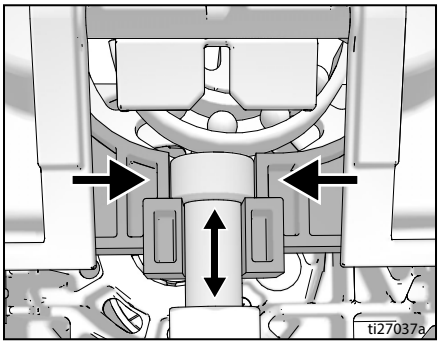


ポンプの取り付け

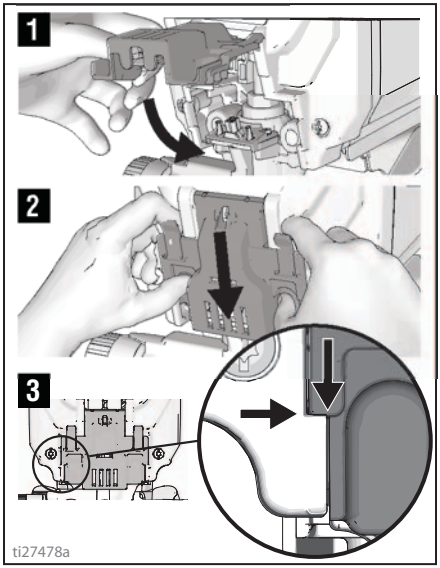
1. ポンプアセンブリを、取り付けピンにスライドします。



2. ヨークの開口部とキャップのレベルが同じになるまで、ポンプ置換ロッドを上または下へ動かします。



3. ポンプのインレットエンドへ向けてドア全部を押しながら、Easy Access Door ポンプドアをスイングして閉じます。

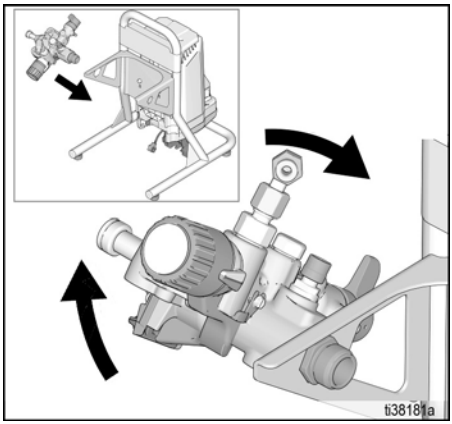


注意：スプレーヤーの操作前に、ドアは完全に閉じられラッチされている必要があります。

インレットバルブの取り外し

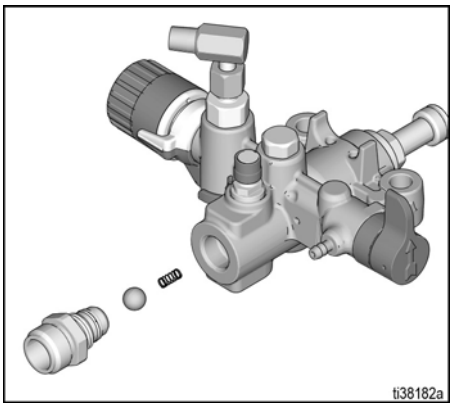
ポンプからインレットバルブアセンブリを取り外すための統合ツールはフレームに含まれています。インレットバルブが詰まっているまたは動かない場合には、バルブアセンブリを取り外し、清掃してください。

1. スプレーヤーからホッパーとポンプを取り外します。**ポンプの取り外し**、ページ 24 を参照。
2. ポンプインレットをフレームに差し込み、インレットバルブを緩めます。インレットバルブを取り外します。



注意

インレットバルブアセンブリの内部にあるボールとスプリングを緩めないようにしてください。インレットバルブが取り外されると、落ちる場合があります。ポンプは、ボールとスプリング無しでは吸引しません。



3. 異物をキャビティからすべて取り除き、ボールとスプリングを再取り付けします。フレームの統合ツールを使用して、インレットバルブをポンプに取り付けて絞めます。

リサイクルおよび廃棄

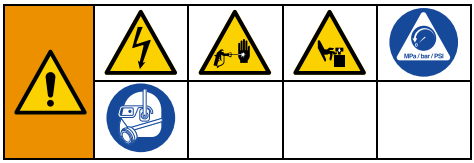
製品有効期間の終了

製品の有効期間が終了した場合、責任ある方法で分解しリサイクルを実施してください。

- **圧力開放手順**、ページ 12を実行してください。
- 液体を排出し、適用される法令に従って廃棄してください。材料製造会社の安全データシートを参照してください。
- モーター、バッテリ、回路基板、LCD(液晶ディスプレイ)およびその他の電子部品を取り外してください。適用される法令に従ってバッテリをリサイクルしてください。
- 家庭用または商業用廃棄物と共に電子部品は廃棄しないでください。

- 残った製品をリサイクリング施設に搬送します。

トラブルシューティング



1. ガンを点検または交換する前に、電源コードを抜いて**圧力開放手順**、ページ 12) に従ってください。

2. 列挙されている各問題に対する解決策のうち、最初に記載されているものがもっとも一般的な解決策です。一覧の上から順番に解決策を探してください。

問題	原因	解決法
モーターが動かない: (スプレーヤーが電源につながれており、電源スイッチがオンであることを確認します)。	Easy Access Door が完全に閉じられていません。	Easy Access Door が閉じられラッチされていることを確認します。25 ページを参照。
	圧力制御ノブは圧力 0 に設定されています。	圧力制御ノブを時計方向に回し、圧力設定を上げます。
	コンセントから電源が供給されていない。	間違いなく動作するデバイスを使用して、コンセントをテストしてください。 回路ブレーカーをリセットします。またはヒューズを交換します。 電源を供給するコンセントを見つけてください。 その建造物の回路ブレーカーをリセットします。またはヒューズを交換します。
	延長コードが損傷している。	延長コードを交換します。10 ページを参照。
	スプレーヤーの電気コードが損傷している。	絶縁体やワイヤーが破損していないか確認します。損傷していた場合には電気コードを交換します。
	ポンプが動かない (水がポンプ内で凍結している)。	オン/オフスイッチをオフにし、スプレーヤーを電源から抜きます。 凍結していた場合には、完全に溶けるまでスプレーヤーを始動しないでください。モーター、制御ボード、ドライブトレインが破損する場合があります。 スプレーヤーを温暖な場所に数時間置いておきます。シュラウドを取り外しファンを回して、ポンプが問題なく動くかを確認します。 冷却されていない場合、**ポンプ修理**、ページ 24、ポンプを交換してください。**部品** 30-33を参照してください。
	モーターまたはコントロールシステムが損傷している。	モーターまたはポンプアセンブリを交換します。**部品 - SaniSpray HP 65 (応急処置)**、ページ 30を参照してください。

トラブルシューティング

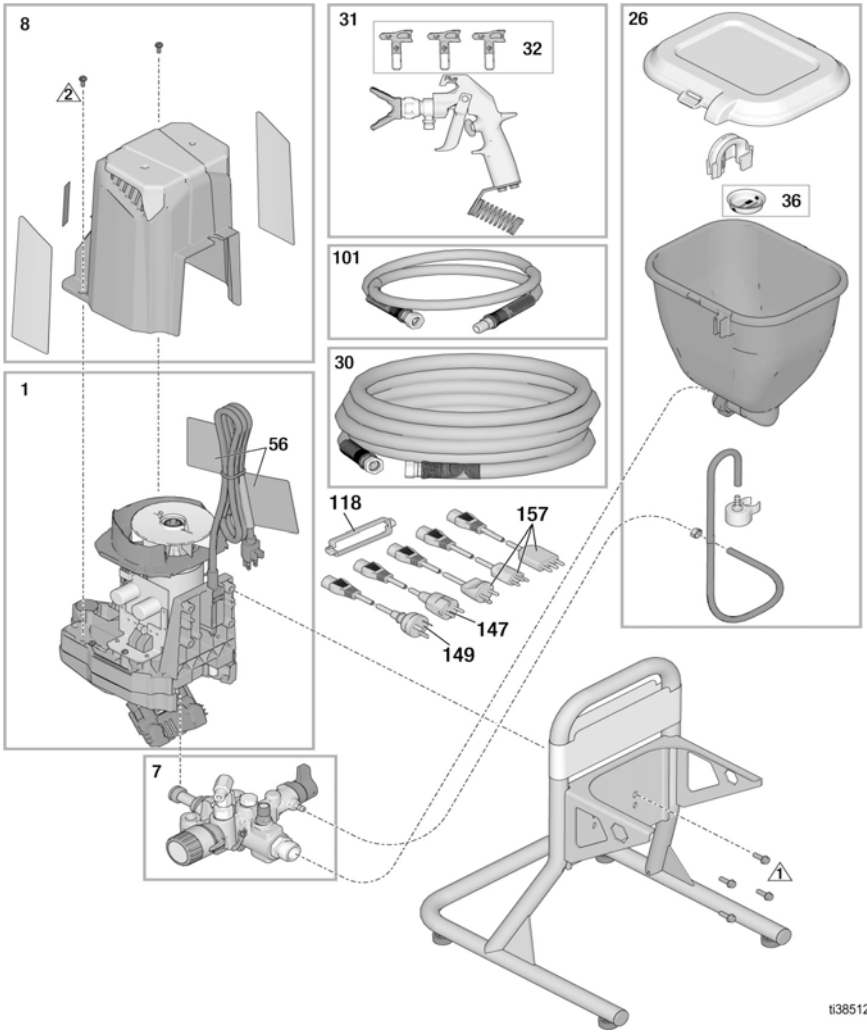
問題	原因	解決法
スプレーヤーは動作するが、使用中にポンプが吸引しない、または吸引を緩めない (ポンプは回転するが材料を吸引しない、または圧力が生じない)。	インレットバルブのチェックボールが詰まっている。	PushPrime ボタンを押し、ボールによってポンプが適切に吸引しているかを診断します。
	プライム/スプレーバルブが「SPRAY」位置になっている。	材料がドレンチューブから出てくるまで、プライム/スプレーバルブを「PRIME」位置にします。これでポンプが吸引されています。
	インレットストレーナーが詰まっている、またはホッパーが空。	インレットストレーナーから異物を取り除き、ホッパーに液体があることを確認します。
	インレットバルブのチェックボールまたはシートが汚れている。	インレットバルブを取り外します。ボールおよびシートを清浄にします。**インレットバルブの取り外し**、ページ 25を参照してください。
	アウトレットバルブのチェックボールが詰まっている。	アウトレットバルブを反時計回りに回して外し、アセンブリを清掃します。
	プライム/スプレーバルブが摩耗しているか、または異物が詰まっている。	プライム/スプレーバルブまたはポンプアセンブリを交換します。**部品** 30-33を参照してください。
ポンプは吸引するが、良好なスプレーパターンにできない。	スプレーチップが「UNCLOG」位置になっている。	スプレーチップの矢印形のハンドルを回転して、前方の「SPRAY」位置に向けます。
	圧力設定が低すぎる。	圧力制御ノブを時計方向に回し、圧力設定を上げます。
	スプレーチップガスケットとシールが摩耗している、または紛失している。	ガスケットとシールを交換してください。17 ページを参照。
	インレットストレーナーが詰まっている、またはホッパーが空。	インレットストレーナーから異物を取り除き、ホッパーに液体があることを確認します。
	延長コードが長すぎる。または規格を満たすだけの重量がない。	延長コードを交換します。10 ページを参照。
	インレットバルブまたはアウトレットポンプバルブが、摩耗しているまたは異物で詰まっている。	摩耗、または詰まっているインレットバルブまたはアウトレットバルブを確認してください。 • プライムスプレーヤー。 • スプレーガンの引き金を一瞬だけ引きます。 • 引き金を放すと、ポンプは少しだけ動作して、停止するはずです。 • ポンプがサイクル動作を続ける場合、ポンプバルブが摩耗しているか、異物が混入している可能性があります。 • インレットバルブまたはポンプアセンブリを交換します。**部品** 30-33を参照してください。
	エアレスホースが長すぎる (余分のセクションを追加していた場合)。	エアレスホースのセクションを取り外してください。

問題	原因	解決法
引き金が引かれている間、スプレーガンがスプレーを停止する。	スプレーヤーが吸引しない。	トラブルシューティグセクションの「スプレーヤーは動作するが、使用中に吸引をポンプが吸引しない、または吸引を緩めない。」をご覧ください (28 ページ)。
スプレー中に、パターン幅が大きく変化する。	圧力コントロールスイッチが摩耗しているため、圧力の変動が大きくなっている。	圧力 コントロールまたはポンプアセンブリを交換します。**部品** 30-33 を参照してください。
スプレーガンの引き金を引くことができない。	スプレーの引き金ロックが有効になっています。	引き金ロックを回し、引き金ロックを解除してください。13 ページを参照。
圧力コントロール部分から材料が出てくる。	圧力コントロールが摩耗しています。	圧力 コントロールまたはポンプアセンブリを交換します。**部品** 30-33 を参照してください。
材料がポンプから漏れ出している。	ポンプパッキンが磨耗しています。	ポンプカートリッジまたはポンプアセンブリを交換します。**部品** 30-33 を参照してください。
モーターが熱くなっていて、断続的に動作する。過熱のため、モーターが自動的にシャットダウンしています。過熱の原因を放置した場合、損傷する可能性があります。	エンクロージャの換気孔がふさがっています。またはスプレーヤーが覆われています。	換気孔の障害物を除きます。スプレーヤーは空気に接触させてください。
	延長コードが長すぎる。または規格を満たすだけの重量がない。	延長コードを交換します。10 ページを参照。
	電圧レギュレーターのない発電機を利用しており、過剰電圧になっている。	適切な電圧レギュレーターを備えた発電機を使用してください。
	モーターを交換する必要がある。	モーターアセンブリを交換します。**部品 - SaniSpray HP 65 (応急処置)**、ページ 30を参照してください。

部品 - SaniSpray HP 65 (応急処置)

⚠1 110-120 in-lb (12.5-13.6 N•m) のトルクで締め付けます

⚠2 30-36 in-lb (3.4-4.0 N•m) のトルクで締め付けます



部品リスト - SaniSpray HP 65 (応急処置)

参照番号	スプレーヤーのモデル	部品	説明	個数
1	25R792, 25R962	25R921❖	キット、モーター、ドライブ、HP65、120V 56	1
	25R946	25T291	キット、モーター、ドライブ、230V、CEE 56	
	25R948, 25R954	25T292❖	キット、モーター、ドライブ、230V、マルチ 56	
7	すべて	25R920	キット、ポンプ	1
8	すべて	25R922	キット、エンクロージャ	1
26	すべて	25R923	キット、ホッパー	1
31†	25R792	25R874	ガン、SaniSpray HP、NA	1
	25R946, 25R948	25T289	ガン、SaniSpray HP、EU	
	25R954, 25R962	25T290	ガン、SaniSpray HP、AP	
32	すべて	FFLP310	チップ、FFLP310	1
		LP515 †	チップ、LP515	
		LP617	チップ、LP617	
36	すべて	112133	スクリーン、ホッパー	1
56▲	すべて	25T410	キット、警告ラベル、コード	1
60▲	すべて		カード、医療用アラート (図はありません)	1
		222385	英語、スペイン語、フランス語	
		17F690	オランダ語、ドイツ語、イタリア語	
		17A134	英語、中国語、韓国語	
		17R476	英語、スペイン語、ポルトガル語(ブラジル)	
		26A997	英語、インドネシア語、ヒンディー語	
		26A998	英語、中国語、日本語	
98	すべて	25T282	拡張、15 インチ (図はありません)	1
99*	すべて	25R872	TipSeal、5 パック (図はありません)	1
101	すべて	25C828	ホース、1/8 インチ x 4-1/2 ft	1
118	25R948, 25R954	195551	プラグ、保持	1
144	25R962	244285	コードセット、日本 (図はありません)	1
146	25R954	17N232	コードセット、インド (図はありません)	1
147	25R948, 25R954	242001	コードセット、EU Schuko	1
149	25R954	242005	コードセット、ANZ	1
157	25R948	287121	コードセット、イタリア、デンマーク、スイス	1
158	25R948	17J242	コードセット、UK (表示なし)	1

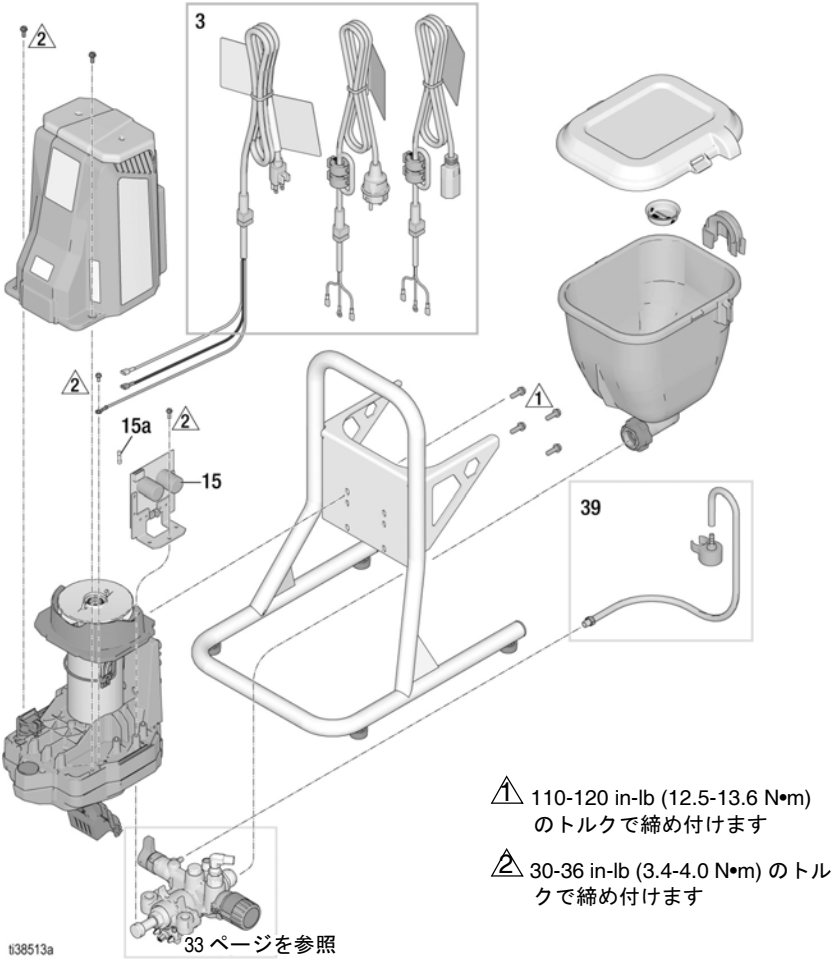
❖ モーター / ドライブキット 25R921 には日本向けコードセットアダプターは含まれていません。コードセットアダプターは別途注文する必要があります (144を参照)。コントロールキット 25T292 には日本向けコードセットアダプターは含まれていません。コードセットアダプターは別途注文する必要があります (146-158を参照)。

* 2 つの追加TipSeal (ポリマースプレーチップシール) がスプレーヤーに含まれています。消毒用途では、交換スプレーチップに含まれているOneSeal (金属シール) ではなく、TipSeal (ポリマースプレーチップシール) を使用してください。

†SaniSpray HP ガンには LP515 スプレーチップが含まれています。

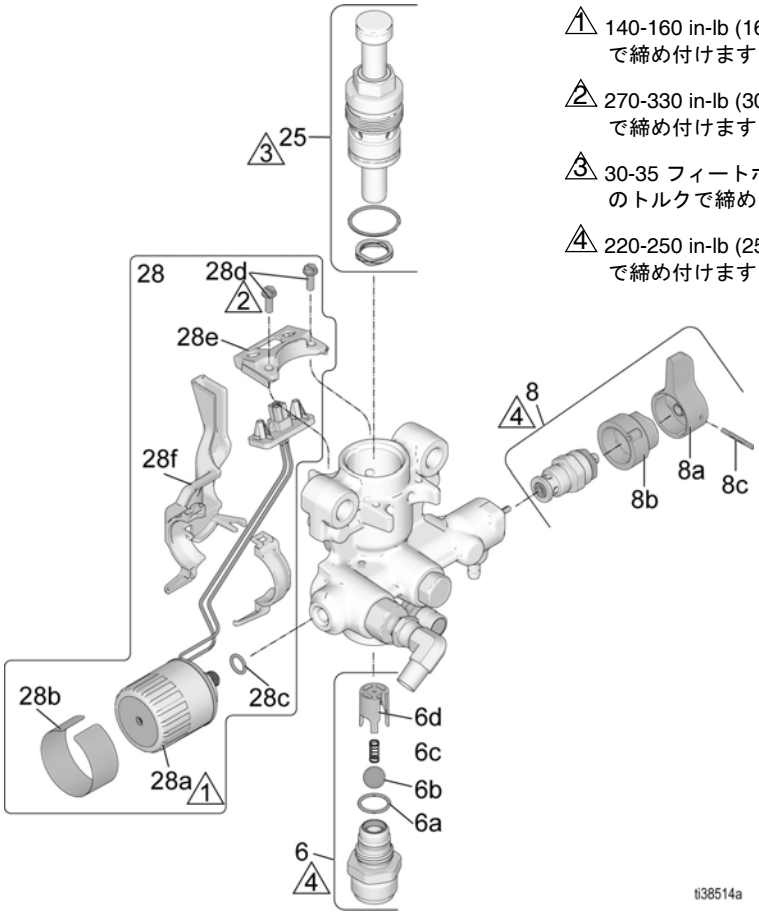
▲交換用の安全ラベル、タグ、カードについては無償にて提供いたします。

部品 - SaniSpray HP 65 (拡張修理)



参照番号	スプレーヤーのモデル	部品	説明	個数
3	25R792, 25R962	25T294	コード、電源、米国	1
	25R946	17J175	コード、電源、EU Schuko	
	25R948, 25R954	17L301	コード、電源、マルチコード	
15	25R792, 25R962	25T416	ボード、制御、100-120V、15a	1
	25R946, 25R948, 25R954	25T417	ボード、制御、220-240V、15a	
15a	25R792, 25R962	119276	ヒューズ、12.5Aスローブロー、100-120V	1
	25R946, 25R948, 25R954	129882	ヒューズ、6.3Aスローブロー、220-240V	
39	すべて	17K336	チューブ、ドレン、アセンブリ	1
56▲	すべて	25T410	キット、警告ラベル、コード	1
▲交換用の安全ラベル、タグ、カードについては無償にて提供いたします。				

部品 - SaniSpray HP 65 (ポンプ修理)



1 140-160 in-lb (16-18 N•m) のトルクで締め付けます

2 270-330 in-lb (30-37 N•m) のトルクで締め付けます

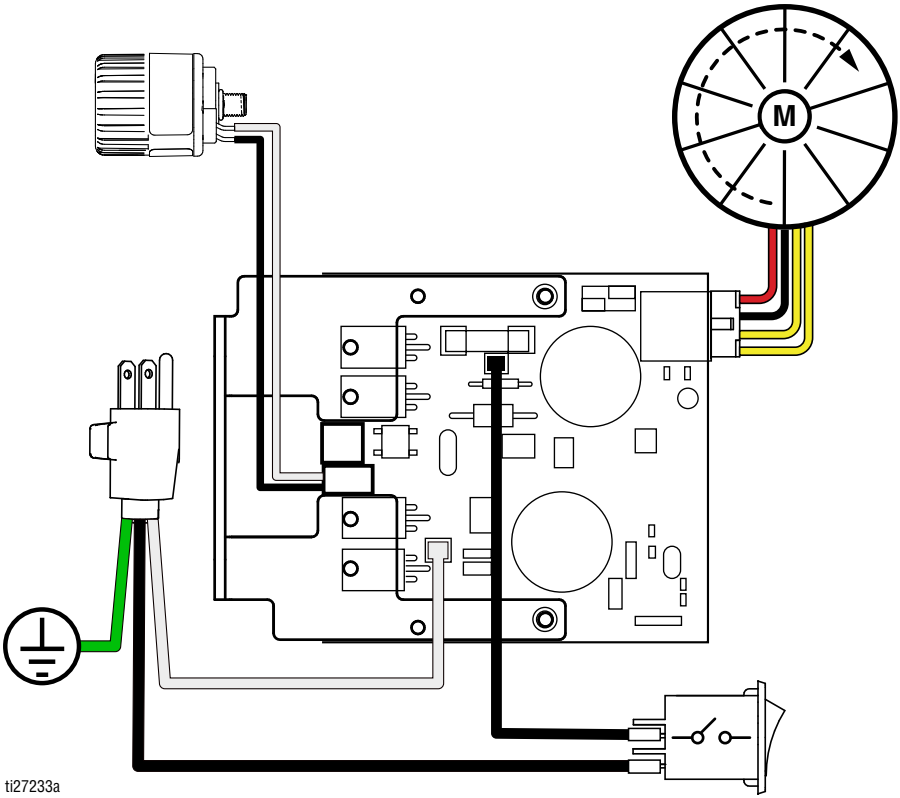
3 30-35 フィートポンド (40-48 N•m) のトルクで締めます

4 220-250 in-lb (25-28 N•m) のトルクで締め付けます

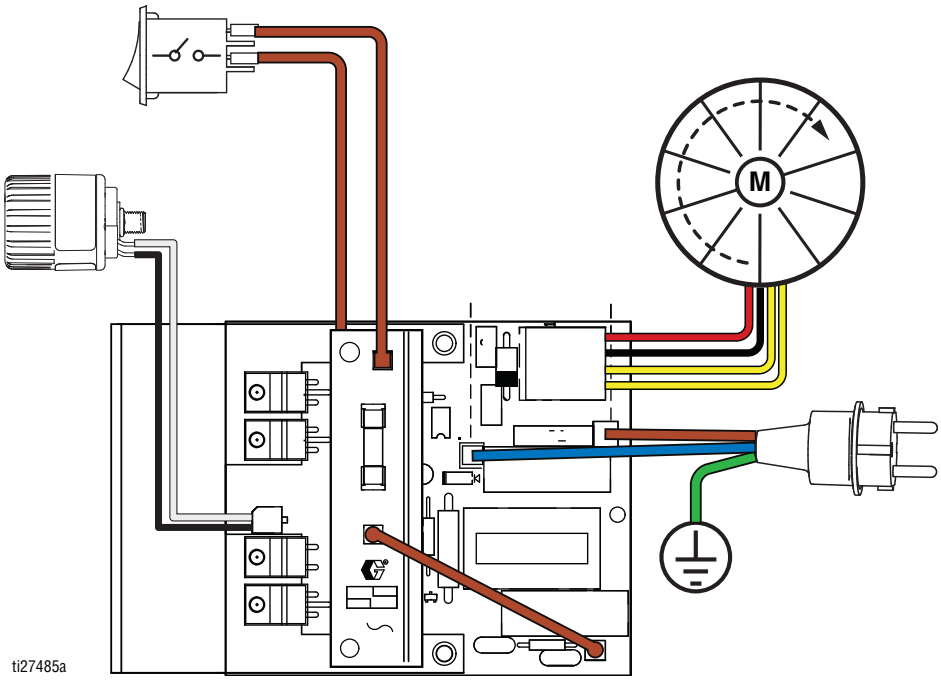
参照番号	スプレーヤーのモデル	部品	説明	個数
6	すべて	25T403	キット、インレットバルブアセンブリ	1
8	すべて	25T415	キット、プライムバルブ	1
25	すべて	25T418	キット、ポンプカートリッジ	1
28	すべて	25T402	キット、コントロール、圧力	1

配線図

100-120V



220-240V



技術的仕様

SaniSpray HP 65 ポータブルホッパースプレーヤー		
	米国	メートル法
スプレーヤー		
最大使用圧力	1000 psi	69 bar, 6.9 MPa
最高駆出量	0.5 gpm	1.9 lpm
最大チップサイズ	0.58 mm (0.023 インチ)	0.58 mm
液体アウトレット npsm	1/4 インチ	
発電機の最低要件	3500 W	
電源要件	100–120V、8A、1Ø または 220-240V、5A、1Ø	
寸法		
全高	19.6 インチ	49.8 cm
長さ	20.2 インチ	51.3 cm
幅	13.5 インチ	34.3 cm
重量	28 ポンド	12.1 kg
保管温度範囲◆❖	-30°～160°F	-35°～71°C
動作温度範囲✓	40°～115°F	4°～46°C
ノイズ		
音圧	83 dBa*	
音圧	93 dBa*	
構成部品の材料		
接液材料	ステンレス鋼、PTFE、アセタール、レザー、UHMWPE、陽極酸化アルミニウム、タングステンカーバイド、ポリエチレン、フルオロエラストマー、ウレタン、ナイロン、PE-RT	
注記		
* 起動時圧力およびサイクルごとの吐出量は、吸い込み条件、排出ヘッド、エア圧力、および流体タイプによって変化します。 ** 音圧は装置から 1 m（3 フィート）離れた場所で計測しています。音圧はISO-9614 に従って計測。		
◆ スプレーヤー内に消毒剤や水がある状態で保管しないでください。		
すべての商標または登録商標は、各所有者の財産です		

California Proposition 65

カリフォルニア州居住者

⚠ **警告** 発がんおよび生殖への悪影響 -– www.P65warnings.ca.gov.

グラコ社の保証

Graco は、承認された Graco 販売代理店でお買い上げいただいたお客様のご使用に対し、販売日時から、本ドキュメントに記載された、Graco が製造し、か つGraco の社名を付したすべての装置の材質および仕上がりに欠陥がないことを保証します。Graco は、販売日から数えて 90 日の期間、装置が Graco によって不良だと認められた場合は、修理部品を届けるものとします。本保証は、Graco 社の明示の推奨に従って、装置が設置、操作、および保守されている場合にのみ有効です。

誤った設置、誤用、摩擦、腐食、不十分または不適切なメンテナンス、過失、事故、改ざん、またはGraco製でない構成部品の代用が原因で発生した一般的な摩耗、あるいは誤動作、損傷、摩耗については、本保証の範囲外であり、Gracoは一切責任を負わないものとします。また、Graco の装置と Graco によって提供されていない機構、アクセサリー、装置、または材料の不適合、あるい はGraco によって提供されていない機構、アクセサリー、装置、または材料の不適切な設計、製造、取り付け、操作またはメンテナンスが原因で発生した誤動作、損傷、または摩耗については、Graco は一切責任を負わないものとします。

本保証は唯一のものであり、明示的、黙示的を問わず、商品性の保証、または特定用途への適合性の保証など、その他の保証に代わるものです。

保証違反の場合のGraco社のあらゆる義務およびお客様の救済に関しては、こちらで規定の通りです。購入者は、他の補償（利益の損失、売上の損失、人身傷害、または器物破損による偶発的または結果的な損害、または他のいかなる偶発的または結果的な損失を含むがこれに限定されるものではない）は得られないものであることに同意します。保証違反に関連するいかなる行為も、販売日から起算して 2 年以内に提起する必要があります。

Graco 社によって販売されているが、製造されていないアクセサリー、装置、材料、または構成部品に関しては、Graco 社は保証を負わず、特定目的に対する商用性および適合性のすべての黙示保証は免責されるものとします。

販売されているが Graco 社によって製造されていないアイテム （電動モーター、スイッチ、ホースなど）がある場合、それらのメーカーの保証の対象となります。Graco 社は、これらの保証違反に関する何らかの主張を行う際は、合理的な支援を購入者に提供いたします。

いかなる場合でも、Graco は Graco の提供する装置または備品、性能、または製品の使用またはその他の販売される商品から生じる間接的、偶発的、特別、または結果的な損害について、契約違反、保証違反、Graco の過失、またはその他によるものを問わず、一切責任を負わないものとします。

この保証は特定の法的権利を与えるもので、お客様は国、州、都道府県、によって異なる他の権利も有している場合があります。この保証と法的責任の制限は、Gracoに対するこれらの権利 (該当する場合) を除外したり制限したりしてはなりません。お客様の国、州、都道府県の適用される法律のもと、除外したり制限したりすることはできません。

GRACO 北米のお客様の場合

Please call 1-844-241-9499 or visit www.graco.com/techsupport regarding any potential defect in equipment under warranty. 主張された欠陥が確認された場合、Graco はその裁量のもと、無料で所有者の設置用に修理部品を届けるか、製品を交換します。当製品の保証請求やサービスは、Graco の販売代理店または Graco の塗布機器のサービスセンターによって管理されるものではありません。

GRACO 欧州、中東、アフリカ、アジア太平洋地域のお客様の場合

保証申し立ての管理については、現地のサービスセンターや承認された販売代理店にお問い合わせください。

Graco に関する情報

Graco 製品についての最新情報には、www.graco.com に移動してください。

特許の情報については、www.graco.com/patents.をご覧ください。

Graco 製品のご注文は、Graco 販売代理店をお問い合わせするか、または 1-800-690-2894 に電話して最寄りの販売代理店を特定してください。

本文書に含まれる全ての文字および図、表等によるデータは、出版時に入手可能な最新の製品情報を反映しています。Graco はいかなる時点においても通知することなく変更を行う権利を保持します。

取扱説明書原文の翻訳。This manual contains Japanese. MM 3A7653

Graco 本社: Minneapolis
海外拠点: ベルギー、中国、日本、韓国

GRACO INC. AND SUBSIDIARIES • P.O. BOX 1441 • MINNEAPOLIS MN 55440-1441 • USA

Copyright 2020, Graco Inc. すべての Graco 製造場所は ISO 9001 に登録されています。
www.graco.com
改訂 E、７２０２１